



index

特集 ● 睡眠時無呼吸症候群をご存知ですか？

● 言語聴覚士の仕事 —安全に食事を続けられるようにサポート—

トピックス

- 傷害手当金について知っていますか？
- リンパ浮腫でお悩みの方へ

イベント紹介

- 高校生一日看護体験・インターンシップ
- リハビリテーション科 保護者交流会
- 公開医療福祉講座・院内コンサートを終えて

お知らせ

- 糖尿病食 食事会のお知らせ
- がんサロン「にじの会」のご案内
- 公開医療福祉講座のご案内
- 保険証の確認について
- 面会時間のご案内
- 編集後記
- 診療日カレンダー



病院理念

- 一. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

睡眠時無呼吸症候群をご存知ですか？

【睡眠時無呼吸症候群とは】

眠っている間に息が止まっていることがある、といわれることはありませんか。睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome：以下SAS）とは、睡眠中に呼吸が止まる（無呼吸）、または弱くなった状態（低呼吸）が断続的に繰り返され、それによって日常生活に様々な障害を引き起こす病気です。潜在患者数は人口の2%（約200万人）とも言われています。

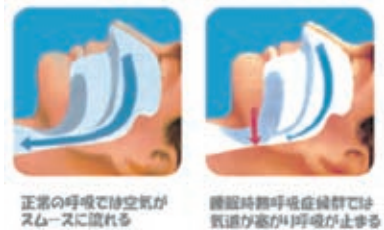


耳鼻いんこう科 代表部長
渡部 啓孝

【SASの原因】

多くの場合、のどの空気の通り道が塞がってしまうことが原因で、肥満（首周りの脂肪の沈着）、扁桃肥大、アデノイド、舌根沈下などが原因となります。またあごが小さいことでSASに罹患することもあります。（図1）

閉塞型睡眠時無呼吸症候群はどのように起こるのか？

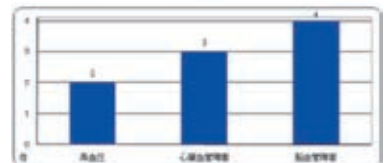


（図1）

【SASの症状】

いびき、ぐっすり眠れない、起床時の頭痛、日中の眠気などがあります。特に日中の眠気は居眠り運転事故や労働災害などにつながり、社会的に悪影響を及ぼします。さらに体にも様々な悪影響を及ぼします。特に生活習慣病の合併症を引き起こすことが明らかとなってきていて、高血圧は健常人の2倍、脳卒中や脳梗塞は4倍リスクが高まるとも報告されています。（図2）また居眠りによる交通事故率も健常人の約7倍も高くなることが知られています。

睡眠時無呼吸症候群と
高血圧、心血管障害、脳血管障害の発生率

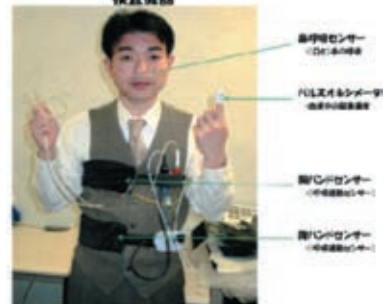


（図2）

【SASの検査】

SASの検査は睡眠中に行う必要があります。寝る前に複数のセンサーを装着して就寝していただきます。当院では、ご自宅でしていただく簡易型モニター検査と、1泊入院していただき行うPSG検査（ポリソムノグラフィー検査（図3））があります。

当院でのアプ/モニター検査
検査機器



（図3）

【SASの治療】

SASの治療法には様々な方法があります。口腔内装置（マウスピース）による治療、手術による治療、CPAP（シーパップ）（図4）と呼ばれる、呼吸の補助をする器械をつけていただく治療法（持続陽圧呼吸療法）があります。特にCPAP療法はCPAP装置からホース、マスクを介してのどに空気を送り込み、常にのどに圧をかけて気道が塞がらないようにする治療法です。この治療法を適切に行うことで睡眠中の無呼吸やいびきが減少し、SASによる症状の改善が期待されます。



（図4）

いびきや睡眠中の無呼吸が気になる方はお気軽に耳鼻いんこう科にご相談ください。

言語聴覚士の仕事 ー安全に食事を続けられるようにサポートー

特集

2

リハビリテーション技術科 係長 松岡 真由

言語聴覚士（ST）は、言語、発声発音、食物を口から食べることに障害を持つ方のリハビリをするのが仕事です。今回は、食べる時にむせたり、誤嚥性肺炎を繰り返すなど問題が起こる摂食嚥下障害のお話をします。これは主に脳血管疾患や頭頸部癌などの後遺症として現れます。

当院での嚥下リハビリの流れを説明します。まず主治医の指示のもと経口摂取開始基準フローチャートに従いチェックが行われます。問題がある場合、耳鼻いんこう科医師が詳しく診察・検査します。その後STの嚥下リハビリが始まります。お口の汚れがある時は、口腔ケアフローチャートに従い口腔外科医師や歯科衛生士がサポートします。必要な時は診療放射線技師の協力で精密嚥下透視検査が行われます。患者さんの嚥下機能に合った嚥下食を管理栄養士が考え、調理師が毎日作ります。食事が始まった後、看護師の摂食機能療法が続きます。

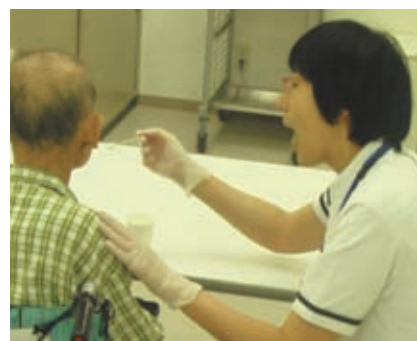
摂食嚥下障害のリハビリは、まさにチーム医療の中で進められていきます。中でもSTは患者さんの嚥下機能向上のためにリハビリを行い、食事の際の姿勢・食べ方・食形態の助言などを行って、安全に食事が続けられるようにサポートしています。



当院の言語聴覚士（ST）5名 リハビリ庭園にて



口腔ケア・摂食嚥下リハチームの会議風景



間接的嚥下訓練の様子

傷病手当金について知っていますか？

病気やケガにより病院で診療を受ける時、療養のために働けなくなることがあります。時にはそれにより収入が減ったり、無くなったりします。そうした場合に生活を保障するためにあるのが傷病手当金です。これは、主に全国健康保険協会、組合健康保険にある制度で、国民健康保険では行われていません（国民健康保険組合においては一部類似した制度あります）。条件に該当すれば1日につき給料（標準報酬日額）の3分の2に相当する額が加入している健康保険から最長1年6ヶ月間支給されます。条件は①病気やケガで療養中であること、②仕事につくことが出来ないこと（労務不能）、③給料の支払いがないこと、④4日以上仕事を休み、継続した3日間の待機を満たしていること、のすべてを満たしていることが必要です。申請するには書類が必要ですので、詳しくはお勤めの会社もしくは加入している保険者へご確認ください。

糖尿病食 食事会のお知らせ

みなさん、糖尿病の食事療法はうまくいっていますか？食事療法は、実際に食べてみるのが一番です。毎年恒例の糖尿病食 食事会を下記のように企画しましたので、奮ってご参加ください。当院の患者さんとご家族の方以外の方もご参加いただけます。

なお、準備の都合上、予約制とさせていただきます。予約は、下記予約期間に、内科受付にて行いますが、定員となり次第締め切りとなりますので、ご了承ください。

(電話での予約は13:00~16:00に限定させていただきます。)

※電話予約:代表0587-51-3333→内科受付におつなぎします。

日時：平成26年12月6日(土) 11:30~13:00頃まで

場所：江南厚生病院2階 講堂

費用：600円 当日受付でお支払いください。(混雑防止のため、おつりのないようにご準備ください。)

予約期間：10月1日(水) ~定員60名になり次第終了

※不明な点は内科外来17番 看護師にお尋ねください。

リハビリテーション科 保護者交流会

5月31日に当院で小児リハビリを受けている保護者の交流会を開催しました。保護者をはじめ、地域小児関係の専門家、当院スタッフなど約40名が参加し、「日ごろの育児の悩みを共有することができた」、「また開催してほしい」といった意見をいただきました。



公開医療福祉講座・院内コンサートを終えて

■公開医療福祉講座(資料ご希望の方は患者図書室まで)

6月13日(金)「あなたの生活習慣は大丈夫?~目指せ!脱メタボ~」

健康管理センター 江口智美保健師よりお話しいたしました。広報を見てきて下さった方が多く、自身の生活習慣に関心のある市民の方の参加が目立ちました。生活習慣の中でも食生活や運動などの大切さをたくさんの資料や計測などを通して学ぶことができました。

7月31日(木)「飲み込みがうまくいかない人への対応」

耳鼻いんこう科代表部長 渡部啓孝、言語聴覚士松岡真由、齊藤美奈子よりお話しいたしました。医学的な知識からの病院での検査や訓練、また家庭でもできる嚥下体操の実演など映像も織り交ぜながら沢山の資料をいただきました。実際に介護されている方の参加も多く、このテーマの情報を必要とされている方が多くみえることがわかりました。

8月4日(月)「こどもの成長」

小児科部長・こども医療センター長 西村直子よりお話しいたしました。こどもの発達や成長について、図や資料を使ってわかりやすく説明をいたしました。不安がある時の小児科への受診相談の仕方や検査の方法等、参加者からも「よくわかり安心できた」という感想が多く寄せられました。また当日は、NPO法人こどもと文化の森、当院の売店ハートフルスクエアの協力により、託児サービスも実施し、小さなお子さん連れの参加者をサポートさせていただきました。ご協力いただきありがとうございます。

■院内コンサート

6月25日(水)

春日八郎さんの「木曾の舟歌」の作詞家である奥村鋭男さんらにお越しいただき、心にしみる演歌、日本舞踊を披露いただきました。懐かしい曲目に皆さん心がなごむ時間を過ごしてみえました。



7月9日(水)

大正琴琴生流菊八重会による大正琴ミニコンサートが行われました。民謡を口ずさみながら、皆さん楽しい時間を過ごしてみえました。



7月23日(水)

幼児~中学生までの総勢23名によるバイオリンコンサートが行われました。子ども達からたくさんのパワーを貰い、楽しいひと時を過ごしてみえました。



リンパ浮腫でお悩みの方へ

リンパ浮腫とはリンパ管が障害されておこる、むくみのことをいいます。原因不明の一次性と、子宮がん・乳がん・前立腺がんなどの術後に多くみられるリンパ管の圧迫や狭窄などが原因で起こる二次性があります。リンパ浮腫は、がんの治療を受けた全ての患者さんが発症するわけではありませんが、一度発症すると治りにくいという特徴があります。重症化すると生活に支障を来すことがありますので、発症後は早い時期から治療を始め悪化を防ぐことが重要です。リンパ浮腫外来では、セラピスト兼リンパ療法士の専門的知識を持った看護師が対応しており、リンパ浮腫に悩まれる患者さんが、安心して治療を受けることが出来る環境づくりを目指しています。

リンパ浮腫外来の受診には主治医からの予約が必要となりますので、受診を希望される方は、主治医にご相談ください。



リンパ浮腫外来

毎週火曜日

9:30~12:30

リンパ浮腫指導外来

毎週火曜日

13:30~16:30

※保険診療で行っています。

高校生一日看護体験・インターンシップ

地域の高校生を対象に、7月30日と8月21日に当院オリジナルインターンシップ、8月6日に愛知県主催の高校生一日看護体験研修を開催しました。憧れの白衣に着替え、BLS（一次救命処置）や手指衛生、血圧測定その他、ベッドサイドでの看護ケアを通して患者さんとも触れ合いました。「ありがとうという言葉に感動した」「赤ちゃんを抱っこして命の大切さを感じた」などの感想から、「看護師になるために頑張ろう！」という頼もしい言葉が聞かれました。



がんサロン「にじの会」のご案内

がんを患っている患者さんやそのご家族は、ほかの人にはなかなか話せない様々な不安や悩みを抱えながら生活されていると思います。

「にじの会」では、同じ体験をしている仲間とお互いの悩みや不安、または生活の工夫などをお茶やお菓子を食べながら和気あいあいと語り合い、がんと共に自分らしく生きる明日への活力を得ることができるようなお手伝いをさせていただきたいと考えています。

ご興味がある方はお気軽にご参加ください。



- **対 象** がんを患っている患者さん、あるいはそのご家族
- **日 時** (※変更になることがあります)

日にち	テーマ(仮)	担 当
10月18日(土)、11月18日(火)	免疫力アップのための工夫	がん看護専門看護師
12月20日(土)、1月20日(火)	がん患者のための食事について	栄 養 士
2月21日(土)、3月17日(火)	がん患者の立場から	当 事 者

10:00～10:30 プチ講座(2か月毎に内容を変更します) 10:30～12:00 参加者同士の交流会

- **場 所** 外来2階 多目的室 ※ 外来用エレベーター前
- **参 加 費** 無料(自由参加)

<お問い合わせ先> がん相談支援センター
TEL: 0587-51-3346 FAX: 0587-51-3317
e-mail: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

公開医療福祉講座のご案内

江南厚生病院では、地域住民の皆様向けに、医療や福祉に関する情報を提供していく目的で講座を開催します。今年度は、以下のような企画をしております。

参加は自由ですので、どうぞお気軽にお越しください。

場 所 江南厚生病院2階 講堂

時 間 13:30～14:30

<日程と内容>

10月 9日(木)	乳がんは予防できる?	乳腺内分泌外科 部長 飛永 純一
11月12日(水)	終活についてご存知ですか?～介護や老いに伴う心構え～	医療福祉相談室 ソーシャル・ケア係長 外山 弘幸
12月 2日(火)	もの忘れ・認知症とは	神経内科 非常勤医師 池田 隆

お問い合わせは・・・ 江南厚生病院「医療福祉相談室」野田・大池まで TEL:0587-51-3333



● 保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

● 面会時間のご案内

平 日	15:00～20:00
土・日曜日・祝日	13:00～20:00

※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないよう談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

編集後記

周囲の山々が綺麗に色付き出し、気温も涼しくなり始め、少しずつ秋を感じさせるようになってきました。食欲の秋・読書の秋でもありますが、季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。食べ過ぎに注意する事や、気候に合わせて衣服を調節するなど、体調管理を怠らずに、健康に過ごせるよう注意しましょう。

2014年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です)

● 午後休診

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

● 発行日/平成26年10月1日

● 発 行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300